※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)現代文(２年)	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『論理国語』（大修館書店）						
副教材等	『漢字ボックス』・『漢字反復ノート』（浜島書店） 『改訂版プレミアムカラー国語便覧』（数研出版） 『新成現代文』（尚文出版） 『文学国語セレクション』（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生では、将来を見据えた発展的な国語の力を身につけましょう。
・社会を見る目を養うことを意識しましょう。
・話し合い、文章記述、発表などで自分の意見を他者と交流する授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させ、コミュニケーションの基礎となる「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」を身につけましょう。
・積極的に授業に取り組み、感じたことを他の生徒と共有してください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通じ他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	論理展開が明快な文章を読んで、評論の基本的な読み方を習得する。 ［教材］ 「対話の精神」	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で正しく活用している。 b[読]:[読むこと]において評論の内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨を把握することができる。 c:「対話」という言葉にこめられた意味について話し合い、自分の考えを深めようとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート 小テスト
	評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握して筆者の考えを理解する。 ［教材］ 「ミロのヴィーナス」	a:文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]:[読むこと]において内容や構成、論理の展開などを捉え、要旨を把握することができる。 c:本文内容の正しい理解を踏まえて、筆者の主要な見解をわかりやすくまとめようとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート 小テスト
	図版資料から情報を読み取ることを通じ、自分の感じ考えたことを文章化する力を養う。 ［教材］ 「図版を分析して書く」	a:文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。 b[書]:[書くこと]において伝えたいことが的確に伝わるように、文章の構成や表現の仕方などを整えることができる。 c:自分の感じ考えた抽象的な事柄を、自分なりに言葉にしようと努力している。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート 小テスト
	登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 ［教材］ 『山月記』	a:情景の豊かさや心情の特徴を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:[読むこと]において、作品に表れるものの見方、考え方を捉えるとともに作品が成立した背景を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。 c:登場人物の心情を把握し、主人公の内面と苦悩を理解してその生き方について考えようとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート 小テスト
2学期	人間の言葉について 評論文の内容を的確に捉え、考えを深める。 ［教材］ 「『方言』コスプレ現象」	a:効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]:[読むこと]において文章の内容を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、自分の考えを深めることができる。 c:「言葉の働き」についての話し合いで、自分の考えを話し、相手の考えを聞こうとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート 小テスト
	戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を捉え、人間の生と死について考えを深める。 ［教材］ 『沖縄の手記から』	a:文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:[読むこと]において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 c:時代背景や登場人物の生き方・考え方を把握し、人間の生と死について考え、まとめようとしている	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート 小テスト

※令和４年度以降入学生用

	人間の認識や行動の在り方について考えを深める。 ［教材］ 「スキーマと記憶」	a:効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]:[読むこと]において内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨を把握することができる。 c:「記憶」の在り方について話し合い、自分の考えを深めようとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート 小テスト
	人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。 ［教材］ 『こころ』	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:[読むこと]において語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色を通して内容を理解することができる。 c:登場人物の関係性と心情を把握し、人の心のありようについて考え、自分の考えについて話し合おうとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート 小テスト
3学期	現代社会のもつ特徴や問題について考えを深める。 ［教材］ 「グローバリゼーションと文化」	a:学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句を習得し、文章の中で正しく活用している。 b[読]:[読むこと]において主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討することができる。 c:筆者の考えについて話し合い、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート 小テスト
	進歩する技術とともに人間のありようについての考えをまとめる。 ［教材］ 「自己をモデル化する知能」	a:文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、十分に理解している。 b[読]:[読むこと]において文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈し、考察することができる c:「人間とは何か」について話し合い、自分の考えを深めるとともに、考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート 小テスト
	寓意に注意しながら小説を読み、郡代という時代について考えを深める。 ［教材］ 『鞄』	a:文学的な文章を読むことを通して，我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:[読むこと]において，文章の構成や展開，表現の仕方を踏まえ，解釈の多様性について考察することができる。 c:寓意が表しているものを読み取り，作者が描こうとした意図について考えを深めようとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート 小テスト
	動物を通じて、人間の社会の成り立ち方について考える。 ［教材］ 「分かち合う社会」	a:効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]:[読むこと]において内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 c:社会を成立させているものについて考え、わかり易くまとめようとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート 小テスト

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　５５　）時間